

HOSEI

UNIVERSITY JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

SCHOOL GUIDE 2025





Contents

- 01. 目次
- 03. 法政座談会 HOSEI TABLE TALK
- 05. 本校の目指す教育
- 07. 進学 To The Next Stage
- 09. カリキュラム 中学編
- 11. 年間行事 中学編
- 13. カリキュラム 高校編
- 15. 年間行事 高校編
- 17. 卒業生インタビュー
- 19. クラブ活動
- 21. 生徒×教員 対談 Hosei Conversation
- 23. 教育環境・施設
- 25. 校長挨拶

HOSEI TABLE TALK

中学・高校それぞれの生徒たちから、
法政大学中学高等学校の魅力について聞いてみました。



自主自律の精神のもと、伸び伸びと成長する

法政中高を選んだのはなぜですか？

T.Y. 私は高校から入学しましたが、法政中高を選んだ理由は受験勉強じゃない勉強ができることに魅力を感じたからです。高校の探究の時間で自分の好きな勉強ができること、海外留学にも興味がありました。

Y.T. 自然が豊かであることと、少人数教育のため、先生と生徒の距離が近いと思ったからです。

I.S. 僕は2歳からやっていた水泳を続けたかったので、水泳部があることが中学選びの条件でした。付属校なので受験で活動が中断されず、6年間継続して取り組めること、部活によって異なりますが、水泳部の場合、中高一緒に活動であることも魅力でした。

S.R. 私は将来の方針が決まっていなかったので、受験を気にせず6年間、いろんな分野を追求しながら自分の進路を考えたいと思い、選びました。オープンキャンパスの体験授業を受けた時の先生の教え方も、わかりやすくてよかったです。

入学後にあらためて見つけた法政中高の魅力は？

S.R. 学習環境が整っていることです。中学受験では算数が苦手でしたが、今は、数学が好きな科目になりました。というのも、学習予定表が配られ、授業の内容や宿題のことが事前にわかり、予習がしやすくなっています。自主的に学ぶ仕組みがあるおかげで、自分の可能性が広がりました。

I.S. 中学の部活は上下関係が厳しいのかなと思っていましたが、入ってみると、水泳部はあたたかい雰囲気で、卒業した先輩たちも熱心に指導してくれます。

T.Y. やさしい人が多いですね。私はバレー部に入っているのですが、怪我のせいでマネージャーに転向することを考えていた時期があります。でも、仲間や先生の励ましでプレイヤーとして復帰することができました。

Y.T. トレーニング器具など設備が充実していることです。実は僕は怪我で所属するサッカー部を休んでいた時期がありますが、その間、筋力を鍛えるために利用していた体育館のトレーニング器具に助けられました。

印象的な行事や部活動はありますか？

Y.T. 高校スポーツ大会です。今もスポーツ大会に向けて勝利するための戦略を、クラスメイトと考えているところです。その後の文化祭と合唱コンクールでも優勝し、三冠をとるのがクラスの目標なので、燃えています。

S.R. 私は生徒会執行部に所属しているので、行事運営そのものが好きです。特に冬期行事の成果を発表する合同プレゼンテーションという新しい行事を企画できたことが印象に残っています。中学各学年がそれぞれの冬期行事を後輩に引き継ぐために必要だと考え、選挙公約にしていました。執行部全体で協力して実施できてよかったです。

I.S. 僕は中2の時のフィールドワークが印象深かったです。各自でテーマを決めて自分が興味のある場所に学習しに行くことで、法政中高の教育目標「自主自律」を感じる

ことができました。

T.Y. クラスごとにまとまって、食堂でお昼を食べるクラスランチが好きです。クラス全員と交流でき、楽しい時間です。法政中高では、たくさんある行事を通じてクラスが一つになるので、高校から入学した私でもすぐになじむことができました。

Y.T. 多くの行事を通じて、中学生と高校生の間で交流できるのも、お互いに新しい発見ができていいなと思います。

I.S. そうですね。文化祭では、高校生のクラス企画のクオリティに驚きました。

法政中高で成長したことを教えてください。

Y.T. 文章を書くことが苦手でしたが、大学進学に必要な志望理由書の書き方など、高1から指導を受け、1年の頃と比べてかなり上達しました。

T.Y. 文章を書く機会は多いですね。高2の必修選択で選んだ「国際社会研究」でも、社会問題について1テーマを取り上げ、小論文を書きました。探究の時間でもレポートを書くので、確かに文章力は鍛えられます。

I.S. 中学では小論文まではいかないけれど、国語の表現の授業で400字程度の文章を書く機会が多く、高校進学に向けて少しずつ訓練ができていていると思います。

T.Y. あと、高1の時に英語スピーチコンテストがありますが、高2・高3では英語でディベートをする授業があります。原稿を見て読むのではなく、アドリブで英語を話すため、スピーキング力が向上しました。

Y.T. ふだん日本語で冗談を言い合う友達が、堂々と英語を話す姿を見ると「自分もがんばろう」と刺激を受けます。

法政中高を目指す人にメッセージをお願いします。

T.Y. 法政中高は受験勉強にとらわれない学びに時間をたくさん使える学校で自分の好きなこととじっくり向き合いたい人が多いと思います。縛られない環境でのびのびと自律心を伸ばせます。

I.S. 穏やかな校風の中で、「自主自律」という教育目標のとおり、生徒が自主的にメリハリのある行動ができる学校です。

S.R. 小規模な学校なので、とてもあたたかい雰囲気、友達との関わりも深まります。毎日がとても楽しいです。

Y.T. 法政中高の行事は生徒主体で行われ、一つの目標に向けて一体感が生まれ、仲良くなりやすいのが特徴です。それから、必修選択で簿記や経営についてなど大学で学ぶようなことを先取りして学べるのも受験がないから。もちろん他大受験をする人向けの講座もあり、様々な進路に対応しています。



中学3年 I.S.



中学3年 S.R.



高校3年 Y.T.



高校3年 T.Y.

自ら考え判断する「自律した人間」を育てる

コミュニケーション能力や問題解決能力を高める

自由な発想で考え、仲間とともにさまざまなことにチャレンジできること、それが大学付属校である本校の魅力です。身近なことから社会問題まで、自分たちの課題と向き合い、自分たち自身で解決方法を探る、そんな主体的な学びの場がここにあります。

「自由と進歩」の校風のもと、「自主自律」を育む

生徒が主体的に活躍する

法政大学中学高等学校は、その前身の法政大学第一中・高等学校が1936年に創立し、88年を迎えました。2007年の校地移転と共学化を経た現在、これまでの教育を検証し、日本国憲法と1947年制定の教育基本法、子どもの権利条約の理念と精神に則り、「安全・安心」「信頼と共同」「対話と討論」を重視した教育づくりに取り組んでいます。



大学付属校ならではのスクールライフ



受験勉強にとらわれない

クラブ活動、生徒会活動、行事の企画や運営など、自分が本当に打ち込みたいことに全力を注ぐことができます。自分たちで考え、自分たちで創るからこそ得られる達成感。お互いの考えをぶつけ合い、みんなで1つのことを成し遂げていく中で築かれる仲間達との信頼感。決して授業だけでは得られないたくさんの経験は、何事にも代えがたい貴重な財産になります。

仲間と協力し成し遂げ続ける学校生活

他者や社会と関わる

学校生活のあらゆる場面で求められるのは、生徒が自ら考え、判断し行動することです。そして、自分だけではなく仲間の主体性も尊重しながら、互いに夢の実現に向けて行動していかなければなりません。そのためには協調性と、問題解決能力が重要になります。生徒同士や、教員・保護者・地域の方々との対話やコミュニケーションなど、様々な社会生活を経験する中で、大きく成長します。



法政大学への高い進学率

付属校のメリットをいかし、進路を切り拓く

法政大学中学高等学校は法政大学の付属校であり、例年85%前後の卒業生が推薦で法政大学へ進学しています。法政大学への推薦資格を得るためには、高校3年間の総合成績をはじめ、英語資格試験や基礎的思考力確認テストで法政大学が定める基準を満たすことが条件となりますが、例年95%以上の生徒が基準をクリアしています。法政大学の推薦資格を保持したまま、一定の条件の下で他大学受験ができる制度もあり、幅広い選択肢の中から自分の進路を選択することができます。

大学につながる学び

Merit 01

本校では多くの取り組みを通して、自分の学びたいことや実現したいことを具体化させ、卒業後のキャリア形成に繋がります。

その中でも高2で週1時間、高3で週2時間設けている「総合的な探究の時間」では、①【自己理解・自分らしさ】、②【他者理解・コミュニケーション】、③【社会課題・解決の探り方】の3つを目標として掲げて取り組んでいます。高2ではさまざまな活動を通じて、自分は何者なのかを客観的に理解し、自分の生き方を見つめ直すと同時に、自身の考えを他者と共有し合うことで協働性やコミュニケーションスキルを身に付けていきます。また、修学旅行訪問地の地域課題を切り口として、日本の社会的課題について考察します。高3では自分の興味・関心を軸にテーマを設定し、個人やグループで探究活動を進めます。

また、法政大学への進学が内定した生徒は高3の3学期に多種多様な講座から選択して学習する「三学期講座」に取り組みます。

OB・OG講演会

Merit 03

法政大学に進学した卒業生を各学部から招き、どんな夢や目標を持ち、大学でどんなことを学んでいるのか、そのために高校時代にどんなことが大切なのかなどをテーマに講演してもらいます。「なりたい自分」をイメージするためには、大学で活躍している卒業生の姿や話は大いに参考となります。高校2年生の冬に行われるOB・OG講演会をきっかけに、自分の進路をより具体的なものにし、高校3年次の学習につなげていきます。

高大連携プログラム

Merit 02

法政大学のアイデンティティや教育目標を理解するための法政大学主催のプログラムとして、高大連携プログラムは、「大学で学ぶ意義」と題した講演をはじめ、座談会、付属校生へのメッセージと質疑応答などを行っています。その他にも希望者を対象として、総長杯英語プレゼンテーション大会、理系学部の授業を体験できる「ワンデーサイエンスカレッジ in 法政小金井キャンパス」(8月実施)や法政大学の留学生と交流する「HOSEI Summer English Camp」(8月実施)など、様々な高大連携のプログラムがあります。



進路情報室

Merit 04

高校卒業後の進路を決定していくにあたって、生徒一人ひとりに合わせてサポートできるよう進路情報室を設置しています。ここでは教員や職員と面談・相談することができ、幅広い分野の中から、自分にあった進路選択ができるようにサポートしています。法政大学の各学部の研究内容をはじめ、他大学入試に関する情報など、様々な資料や情報を生徒に提供しています。

法政大学進学実績

法学部	法律学科	16	人間環境学部	人間環境学科	12
	政治学科	5	現代福祉学部	福祉コミュニティ学科	2
	国際政治学科	6		臨床心理学科	4
文学部	哲学科	3	キャリアデザイン学部	キャリアデザイン学科	11
	日本文学科	7	スポーツ健康学部	スポーツ健康学科	5
	英文学科	5	グローバル教養学部	グローバル教養学科	4
	史学科	3	情報科学部	コンピュータ科学科	3
	地理学科	3		デジタルメディア学科	3
	心理学科	3	デザイン工学部	建築学科	3
経済学部	経済学科	17		都市環境デザイン工学科	3
	国際経済学科	3		システムデザイン学科	3
	現代ビジネス学科	6	理工学部	機械工学科(機械工)	3
社会学部	社会政策科学科	8		機械工学科(航空操縦)	0
	社会学科	12		電気電子工学科	0
	メディア社会学科	8		応用情報工学科	2
経営学部	経営学科	12		経営システム工学科	1
	経営戦略学科	9		創生科学科	1
国際文化学部	市場経営学科	8	生命科学部	生命機能学科	2
	国際文化学科	9		応用植物科学科	1
				環境応用化学科	2

法政大学進学者 208 名

他大学への進学

現行の推薦制度では、法政大学への推薦権を保持したまま、一定の条件のもとで、他の国公立大学を受験することが可能です。生徒一人ひとりの進路選択を、担任や進路情報室と連携してサポートしています。

2023 年度 他大学合格実績抜粋

京 都 大 学	北 里 大 学	上 智 大 学	明 治 大 学
北 海 道 大 学	慶 応 義 塾 大 学	中 央 大 学	立 教 大 学
青 山 学 院 大 学	国 際 基 督 教 大 学	東 京 理 科 大 学	早 稲 田 大 学



市ヶ谷キャンパス

法・文・経営・国際文化・
人間環境・キャリアデザイン・
GIS・デザイン工学部



多摩キャンパス

経済・社会・現代福祉・
スポーツ健康学部



小金井キャンパス

理工・生命科学・
情報科学部

法政大学総長から法政大学中学高等学校生へのメッセージ

法政大学の教育、研究、社会貢献の理念を表明しているのが、大学憲章「自由を生き抜く実践知」です。いま社会に必要なと提起されている多様性の尊重や、先見性、実践力などを重視しています。そして、法政大学中学高等学校で学ぶ生徒たちは、大学から入学してくる学生たちよりも早い段階から、この教育理念に沿った学びを経験して育っていくことになります。生徒たちの自律性を重んじ、知的な探究に積極的に取り組み、その学びの成果を効果的に表現し、幅広く共有できる力を育むことを、法政大学の付属校教育はめざしています。そして、法政大学に進学してからは、大学憲章の理念を体現した学生と

して、他の入試経路を経て入学してきた学生たちに、法政らしい学びのロールモデルとなることが期待されています。

実際に、法政大学中学高等学校出身の学生たちが、あるいはゼミで、あるいは課外活動において、主導的な役割を果たしている姿を大学ではよく目にします。そして、全国、全世界から集う多様な学生たちの中であって、その違いを大切にしながらも、一致できる共通点を見出して、同じ目的達成のために行動していけるリーダーとなっています。そんな先輩たちに続く生徒たちを期待しています。



法政大学 総長
廣瀬 克哉

カリキュラム中学編

将来につながる基礎を身につける

基礎学力の定着と信頼関係の構築

法政大学での学びやその先の将来を豊かにすることをイメージし、基礎学力と学習習慣を身につけます。その過程で、共に学ぶ仲間・教員との信頼関係が築かれます。



Point 01
基礎学力の定着と学習習慣の確立

基礎学力の定着と学習習慣の確立を目指します。国語では「読解」と「表現」の授業を、数学では1、2年次「代数」と「幾何」に分け並行して学んでいきます。英語では「英語」「英会話」に加え、中1では「フォニックス」、中2・中3では「英語演習」の授業を展開しています。「フォニックス」では綴りや発音のルールを身に付けます。中1・中2は火曜と木曜の放課後に英語と数学の指名補習「リメディアル」を設置し、フォローアップを行います。

Point 02
信頼関係の構築

入学後すぐに行われるオリエンテーションでは、クラスメイトだけではなく学年全体でも交流する企画を設け、仲を深めます。教員とも、このオリエンテーションを通して信頼関係を築きます。友人、教員との信頼関係を中1の早い段階で構築します。学校生活以外の普段の日常生活の中で大切になる「自己と他者との関係の在り方」の教育も行っていきます。



中学校 教育課程	中学1年	国語	社会	数学	理科	英語	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	道徳	特別活動	総合的な学習の時間	計 34 (36)
		5	4	6	3	6	1.5	1.5	3	2	1	1	(2)	
	中学2年	国語	社会	数学	理科	英語	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	道徳	特別活動	総合的な学習の時間	計 34 (36)
		5	4	5	4	7	1	1	3	2	1	1	(2)	
	中学3年	国語	社会	数学	理科	英語	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	道徳	特別活動	総合的な学習の時間	計 34 (36)
		5	4	6	4	6	1	1	3	2	1	1	(2)	

○2024年4月現在 ○学習指導要領の改定などにより、科目名・時間数が変更されることもあります。

生徒主体の行事運営を通して主体性を育む

中学校で行われる多くの行事は生徒実行委員会が主体となり、教員の手を借りながらも自分たちで運営をします。その経験の中で教科の学習だけでは得られない学びを手に入れます。

また中学校では様々な現地での体験学習や社会に触れる活動を通して、自らの興味関心を広げ知的好奇心を育みます。特に12月に行われる東京ウォーキング(中1)、フィールドワーク(中2)、修学旅行(中3)では、事前の下調べに始まり、現地での調査や体験を終えたのち、学んだ内容をまとめて発表しています。この一連の学びのスタイルを作り上げることで高校での探究的で深い学びにつながる基礎学力を養います。



生徒会長からのメッセージ

自主自律の校風

法政大学中学校は「自主自律」という精神を伝統として掲げており、私たち生徒会執行部は、生徒一人ひとりが楽しく安心して学校生活を送れるようにサポートしています。現在は、制服改定に積極的に取り組んでいます。

また、普段の学校生活では自ら考え、その考えたことを実行し、同じ目標に向かって仲間と協力する場面が多くあり、それらを通して主体性や社会性を養うことができます。陸上競技大会や鈴掛祭などの生徒会行事では実行委員会と執行部が中心となり、どうすれば生徒全員が楽しむことができる行事になるかなどを考え、企画・実行しています。

中学生徒会長 K.K.





オリエンテーション(中1)



林間学校(中2)



鈴掛祭



スキー教室(中1)



陸上競技大会



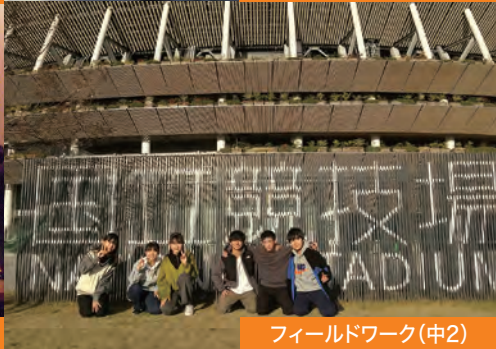
生徒総会



東京ウォーキング(中1)



芸術教室



フィールドワーク(中2)



修学旅行(中3)

※行事は2024年度実施予定のもので、変更することがあります。

年間行事 中学編

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入学式 始業式 オリエンテーション(中1)	生徒総会 中間試験	陸上競技大会	期末試験 林間学校(中2) 芸術教室 終業式	夏休み	始業式 鈴掛祭	中間試験		期末試験 東京ウォーキング(中1) フィールドワーク(中2) 修学旅行(中3)	始業式		学年末試験 スキー教室(中1) 卒業式 終業式

Daily Schedule

登校	1限目	2限目	3限目	4限目	昼休み	SHR	5限目	6限目	下校
8:20	8:30	9:40	10:40	11:40	12:30	13:10	13:25	14:25	17:00

中学修学旅行実行委員長

今回の修学旅行実行委員会では中学3年間の集大成ということで、先生方の手になるべく必要とせず、自分たちでこの行事を成功させることを目標として頑張りました。一番苦労したのは、全体をまとめることでした。実行委員長という立場になり、どうしても全員に伝えたいことを正確に伝えることができるかを考える機会となりました。また、行事の成功のためには委員長の行事に向かう姿勢で学年のみんなに見本を示す必要があると感じたことで、自分の中に自覚と責任感が芽生えたとも感じました。大変だった面もあるけれど、行事も実行委員長もやってよかったと思えるものでした。

Student's Voice



高校1年 K.I.

カリキュラム 高校編

将来を見据えた多彩な授業内容

なりたい自分に向かって具体的に行動する

高校では文系理系といったコース分けをせず、生徒の多様な目標に対応するため高校3年間ですべての教科を学習します。また、自らの目的や進路に応じた発展的な内容の選択授業をとし、卒業後「自ら学ぶ」ことができる力を育てます。



Point 01
学習と諸活動を豊かにする関係性の構築

高校から新たに加わる約100名の生徒と、法政中学から進学する約140名の生徒は、高1から混合クラスで生活します。そうすることで互いに新たな刺激を与え合い、学び合うことができます。高度になる各教科の学習と、諸活動との両立を図り、充実した学校生活を送るためには、友人関係やクラス・学年の団結力が重要となります。その新たな関係性を4月の入学後に行われるオリエンテーションで構築し、その後の様々な行事を経験することで団結力はさらに強いものに変化します。

Point 02
問いを見つけ、大学進学後につなげる学び

高2・高3で設定されている必修選択授業では、生徒自身が自分の進路に必要な知識や教養を獲得するためにも、自ら選択して学びます。自然科学や人文・社会科学、語学など文系と理系の両方の領域から選択でき、ビジネス、法学や簿記といった大学での学びの入門的な内容のものもあります。ゼミ形式の授業では、文献の輪読や調査、ディベートやプレゼンなどを生徒同士が協力して進めます。受験にとらわれない付属校ならではの学びや、仲間と行う探究型の学びが、大学での学びや自らの進路選択につながります。



高校 教育課程	高校1年	現代の国語	言語文化	地理総合	歴史総合	数学Ⅰ	数学A	生物基礎	体育	保健	音楽― or 美術―	コミュニケーションⅠ 英語	論理・表現Ⅰ	英語会話 (学校設定科目)	家庭基礎	情報Ⅰ	ホームルーム活動	計 34
		2	2	2	2	4	2	3	2	1	2	3	2	2	2	2	1	
	高校2年	論理国語	文学国語	世界史探究	公共	数学Ⅱ	数学B	物理基礎	化学基礎	体育	保健	コミュニケーションⅡ 英語	論理・表現Ⅱ	必修選択		総合的な探究の時間	ホームルーム活動	計 34
		2	2	3	2	4	2	2	2	2	1	4	2	4		1	1	
	高校3年	論理国語	文学国語	日本史探究	政治・経済	数学C	物理	化学	体育	コミュニケーションⅢ 英語		論理・表現Ⅲ	必修選択		総合的な探究の時間		ホームルーム活動	計 34
		2	2	2	2	2	2		3	4		2	8		2		1	

○2024年4月現在 ○学習指導要領の改定などにより、科目名・時間数が変更されることもあります。

「選択」する経験をとおして、自らの将来を考える



[必修選択講座]

高2・高3では、将来の自分の進路に合わせて、自然科学や人文・社会科学、語学など様々な領域から選択して学習します。将来の進路に合わせ、文系と理系の両方の領域から授業を選択することも可能です。大学のようにテーマごとにゼミが設置され、文献の輪読や調査、討論・発表などをするものもあり、専門的な内容やスキルを先取りした授業が設置され、大学進学後の学習を一步リードできる内容になっています。



[夏期・冬期特別講座]

「自分で進路を選択すること」をテーマに、夏季休暇・冬季休暇前のそれぞれ2週間、特別講座を開設しています。普段の授業では学べないような様々なジャンルの魅力的な授業が設置されており、自分の将来を見据えながら選択していきます。こうして「選択」を重ねていくことにより、高校2・3年次に設定されている必修選択講座、法政大学進学時における学部学科選び、さらにはその先の自分の未来を考えさせる内容となっています。



[夏期カナダ研修]

2023年度は夏期にブリティッシュ・コロンビア大学、ビクトリアで約2週間、希望者を対象にホームステイをしながら現地校 (Royal Roads University) に通いました。大学構内でカナダの自然保護や環境保全の実例や意識について学び、オフキャンパス研修やアクティビティで、実際の現場を体験しました。全てのプログラムはRoyal Roads Universityの監修により、英語で行われました。英語で学び英語で発信していく力を身につけるだけでなく、社会性と国際性を育む機会となります。

生徒会長からのメッセージ

私の考える法政高校の魅力

私は法政大学高等学校の最大の魅力は、生徒一人ひとりが自分の学びたいこと・挑戦したいことに積極的に取り組める環境にあると考えています。大学付属という利点を生かして高校三年間という限られた時間を自分のために最大限有効に使うことができます。また文理選択が無いことや、自分の好きな授業を自由に選択することが出来る必修選択授業があることも特徴の一つです。私も受験に捉われることなく、部活動と生徒会活動に二足の草鞋で取り組むことができています。これまで生徒会では制服の改定や校内でのスマートフォン使用に関するルールを時代に合ったものへと改定してきました。今後も生徒が主体的に学校の在り方について考えられる学校を目指していきます。

高校生徒会長 M.Y.





年間行事 高校編

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入学式 始業式 オリエンテーション(高1)	生徒総会 中間試験	スポーツ大会	期末試験 夏期特別講座 高大連携プログラム(高1・2) 文化行事 終業式	夏休み 夏期語学研修	始業式 鈴掛祭	中間試験	学年末試験(高3) 学力試験(高3)	期末試験(高1・2) 冬期特別講座 OB・OG講演会(高2)	始業式 スキー教室(高1) 修学旅行(高2)	学力試験(高1・2)	学年末試験(高1・2) 卒業式 終業式

※行事は2024年度実施予定のもので、変更することがあります。

Daily Schedule

登校	1限目	2限目	3限目	4限目	昼休み	SHR	5限目	6限目	下校
8:30	8:40	9:40	10:40	11:40	12:30	13:10	13:25	14:25	17:00

高校修学旅行実行委員長

私が修学旅行実行委員を務めて成長したと感じる点は、視野を広く持てるようになったことです。移動の際などはスムーズに学年全体が動くように心掛けました。同級生のサポートをすることで、小さな心配りを喜ばれる嬉しさに気づき、段々と自ら進んでまとめ役として行動することができるようになりました。学年を代表して舞台上上がることで責任を持って行動することの大切さや、委員全体で活動することで周りを信頼し頼ることの大切さも学ぶことができました。

Student's Voice



高校3年 O.H.

まずは夢を持つこと そしてそれに向かって行動していくこと

◆在学中に印象的だったこと

様々な授業、テスト、水泳部での活動、卒業論文の執筆など思い出は多いのですが、オーストラリアでのホームステイや、海外修学旅行（シンガポール）、ドイツ派遣等海外に触れる機会が多かったことにとても感謝しています。海外に興味を持つ要因の1つになったと思います。

◆現在の進路を志望した理由

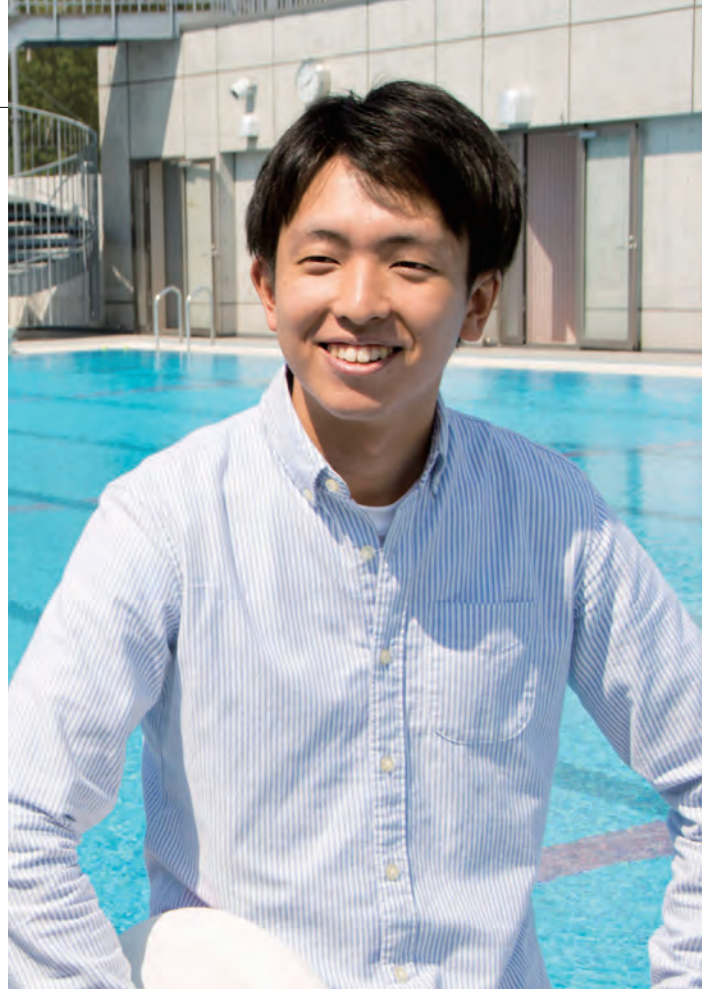
大学進学後、留学などの経験を経て海外で国際協力に携わるのが将来の夢となりました。民間企業の立場から、自社・顧客・社会にとってwin-win-winのビジネス（＝国際協力）を行いたいと思ったことがきっかけで、社会の根底を支える社会インフラに携わる業界を志望し、最終的には現在の会社に入社を決めました。

◆在学中に経験して、今の職業に活かされていること

部活動と学校外のスイミングクラブの活動を両立するには多くの葛藤がありました。最終的にはどちらもやり切ると腹を決めたわけですが、この時の考え方や、その後の行動は今も大切にしています。出来るだけ全てやるということを意識して生活しています。

住友商事株式会社 2012年度卒業

K.R.



やってみたいことはどんなに小さなことでも チャレンジすることが大事

◆在学中特に印象に残っている出来事

実行委員としてシンガポール修学旅行の実施要項作成に関わりました。きちんと読んでもらえるよう内容を工夫して作成すると、皆楽しそうに真剣に読み込んでくれました。この経験から日々の生活に関わる商品をもっと面白く豊かなものにしたいと考え、現在の就職先の玩具メーカーを志望しました。現在は子どもの日常生活を応援できるような商品づくりを目指し、企画開発を担当しています。

◆在学中に経験して今の職業に活かされていること

自分の考えをまとめ、伝え、実行するための思考力です。生徒主体の学校行事や部活動の中で先生方は生徒同士で考える機会をたくさんくださいました。その結果、社会人としてのベースの考え方を高校時代の経験から身につけることができました。また選択授業やゼミのプログラムは幅広い選択肢から興味のある分野を選択することができたおかげで、自分が将来何をやりたいのかを早めに明確にすることができました。大学の付属校だからこそ、本当に自分がやりたいことを探す時間と気づきかけがたくさんありました。

株式会社バンダイ 2012年度卒業

F.N.



Interview with Graduates

卒業生インタビュー

法政中高のその先 ～ 社会にはばたく卒業生 ～

2万人を超える卒業生を輩出している法政大学中学高等学校。その中には、自分の中高時代を懐かしみつつ、再び母校を訪れるOB・OGも多くいます。まさに、校歌にある「よき師よき友 つどひ結べり」の精神。彼らが、なぜ再び母校に帰ってきたくなるのか、その魅力とは何か——卒業生に聞いてみました。

法政中高で学んだことすべてが 今の自分の土台

◆在学中、特に印象に残っている出来事

部活動が特に印象に残っています。たくさんの方々に支えてもらいながら、同じ目標に向けて仲間と絆を深めた6年間の日々は今でもかけがえのない思い出です。学校行事も印象に残っており、卒業後も仲間と語り合うほどです。鈴掛祭(文化祭)も、法政大学中学高等学校のモットーである自主自律を体感できる実りある行事でした。

◆在学中に学んだことや経験したことで現在活かされていること

現在はグローバル教養学部(GIS)で英語を用いた講義に参加していますが、法政大学中学高等学校で学んだすべての教科が自分の大きな土台となっていると実感しています。また、日々の授業内容だけでなく、高校3年生の時に取り組んだ卒業論文も自分の興味のある分野を知るきっかけになり、現在も大学で授業選択をする際にとっても役立っています。

◆これからの人生で目標としていること

日本だけではなく世界と繋がりのあるような仕事に就いて、コミュニケーションをとりながら誰かに笑顔を届けられる存在になりたいと思っています。大学生の間に法政大学中学高等学校で学んだことを最大限活かして、深い教養を身に付け、問題を発見し、多角的な視野から解決策を考えられる人になりたいです。

2022年度卒業 法政大学 グローバル教養学部 グローバル教養学科 2年

I.K.



何か1つではなく、 やりたいこと全てに取り組める環境

◆現在の進路に進学してよかったと思うこと

近年、たくさんの情報を簡単に得ることができ、個人の意見や考えを主張する機会が増えました。多様な価値観があり異なる意見が多く存在する現代では、正しい意見や情報を見分けることがより難しくなっています。大学で法律を学ぶなかで、過去の判例や論文などの学習を通して思考の方法を身につけることができます。違った視点から物事を捉える力を身につけることができます。

◆在学中に学んだことや経験したことで役立っていること

高校での部活動でキャプテンを務めたことです。悩むことも多かったけれど、解決したい問題に対して一つの考え方に固執するのではなく、多角的な視点で考えることの大切さを身につけることができました。この経験が大学での部活動でも活かしていると感じています。

◆未来の後輩へのメッセージ

やりたいこと全てに本気で取り組めることが法政の良さだと思います。受験勉強の心配をせず、大学までの長い期間で自分と向き合うことができます。学校生活を楽しむ中で自分のやりたいことや得意なことを見つけていくこともでき、大学で学ぶことを先取りして勉強することもできます。私も選択授業を通して大学でもスポーツを続けることを決意できました。皆さんが入学してくれることを楽しみにしています！

2022年度卒業 法政大学 法学部 法律学科 2年

T.Y.





Hosei Conversation

生徒 × 教員 対談

法政中高の「自主自律」は どんなもの？

教員O 今日本校の教育方針「自主自律」をテーマに、等身大の生徒の話を書きたいと思い、中学と高校の各生徒会執行部のみなさんに集まってもらいました。みなさんが、どんな時に本校の「自主自律」を感じるのか聞かせてもらえますか？

生徒U 僕は高校から入学し、剣道部に入りました。そこで驚いたのは、練習メニューはもちろん、部活運営のすべてを生徒が自主的に行って稽古していることでした。もちろん必要に応じて顧問の先生や指導して下さる卒業生の先輩にも相談しますが、基本的に

部員同士で声を掛け合い、自主的に進めています。他の部活の友人からも生徒主体で部活動の練習を進めていると聞いています。

生徒T 私は高校に入ってから、スポーツ大会や修学旅行実行委員を経験するなど行事に関わる機会が多くなりました。今は生徒会執行部にいますが、いずれもルールを決めるのは生徒に任されています。ルールの大枠はありますが、先生はあくまでサポート役として見守ってくださるスタイルに、「自主自律」がよく反映されていると思います。

生徒M 法政中高の「自主自律」という漢字は「自分で立つ」ではなく、「自分を律する」ですね。それがよく表れているのが、スマートフォンに関する校則の

改定ではないでしょうか。高校では、2024年度から、高校生は休み時間に校内でスマートフォンが使えるようになりました。時代に合わせ、よりよい学校生活を送れるようにしたいという生徒の要望から出発したのですが、それにはまず、授業中はスマホに触れないなど自分を律する必要があります。それができることを前提に、校則を改定できたことが法政高校の特色と言えます。

教員O 中学生のみなさんはどうですか？

生徒K 生徒会執行部は、入る前は決められた行事にだけ関わるイメージでしたが、入ってみると、行事だけでなく、それぞれのメンバーがいつも学校全体のことを自主的に考えているんだなと

いうことがわかりました。

生徒S 鈴掛祭はクラス企画なども生徒だけで1から作りますが、それを鈴掛祭実行委員と生徒会が安全に運営するためのマニュアル作りなどをして支えます。それぞれの立場での「自主自律」を実践しているのだなと感じます。

生徒O 私は中学2年生の時に林間学校の実行委員をしたのですが、やはり運営していく中で、ルールを1から見直すという経験をしました。過去のルールにとらわれず、自分達の代に合ったルールを考え、行事を引き継いでいくところに「自主自律」を感じます。

生徒M 考え方の違う人と一つのルールを決めるのは難しいことです。先ほどのスマートフォンに関する校則改定も、スマートフォンを使いたいばかりでなく、使わなくてもいいという人もいて、先輩たちの代から引き継ぎ、10年くらい話し合いが行われてきました。僕も最初はスマートフォンを使う必要はないと考えていましたが、多様な意見を聞くことで、考えが変わりました。今回、校則改定したことで、より効率的に部活やクラスの連絡がとれる

ようになりました。より活発な学校生活が送れるようになり、生徒の「自主自律」を後押しする結果になったと思います。

教員O なるほど。そもそもみなさんは、生徒会活動に特に積極的に取り組んでいる人たちですね。本来なら誰かに任せてもいいものを自らやりたいと思った理由は何だったのでしょうか？

生徒T 私は、委員会活動をしていた当時、生徒会執行部の先輩が委員会をうまくリードするのを見て、自分も学校運営に中心となって携わりたいと思うようになりました。

生徒U 僕は公立中で選挙管理委員を経験したことがきっかけで、高校では自分が執行部に立候補しようと思いました。ただ、最初は強い目的があったわけではありません。活動する中で、「学校生活をもっとよいものにええよう」という生徒会執行部の思いが伝わり、自分自身のモチベーションも上がっていました。

「自主自律」を実践できる エネルギーの源は？

教員I 「自主自律」は、実はしんどいものですよ。『指示待ち人間』という言葉もありますが、本来その方が楽です。みなさんのエネルギーは、本校でどのように育まれたと思いますか？

生徒K 僕は生徒会執行部に入ったものの、最初は全校生徒の前に立って話すことが苦手で緊張しました。それを乗り越えた頃から、新しいことに挑戦することを楽しめるようになりました。

生徒M 究極の「自主自律」はルールがない状態でしょう。でも、法政には校則があります。スマートフォンの校則改定でも論点になりましたが、無法地帯では自分の犯した問題は自分がかぶることになります。一方で、誰もが安心安全に学校生活を送ることも大切で、そのバランスをとれることが法政中高の「自主自律」だと思います。「自由＝自主自律」ではないですね。

教員I 生徒会執行部としての活動以外の場面ではどうですか？

生徒T 私の場合、受験勉強に振り回されないことで、やりたいことを自分で見つける余裕がありました。時間がたくさんある中で進路に向き合うことで、「受験があるから勉強しよう」ではなく、「こういう自分になりたいか

ら、こういう勉強をしよう」というモチベーションが生まれました。それが私のエネルギーの源になっていると思います。

生徒M 6年間をフルに使えるため多くのことに挑戦ができます。そのため法政中高の生徒はフットワークが軽いですね。それが「自主自律」につながっているのではないのでしょうか。中3や高3でも部活をずっと続けられますし、学校行事にも高3まで中心となって参加できることも関係していると思います。

生徒U 受験がないのは確かに大きく影響しています。中3の頃に感じた様な受験期のピリピリとした感じがなく、伸び伸びとした雰囲気の中で学校行事を6年間楽しめます。それだけに、成長する機会も多いのだと思います。

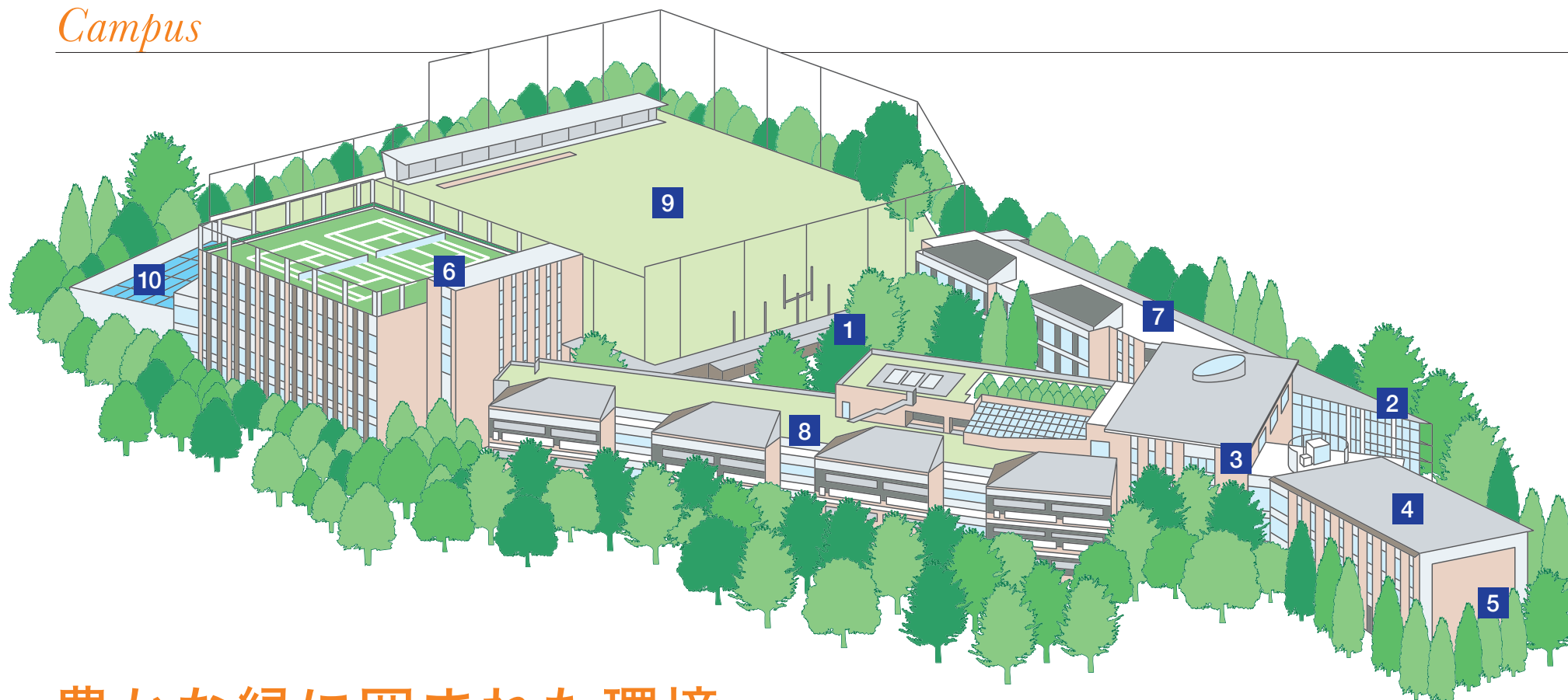
生徒S 通常は受験勉強にとられる時間を、部活や習い事に集中したり、学習もより深く探究したりできるのはうれしいですね。

生徒K Sさんの言うように、好きなことに集中できますし、それ以外にも自分と向き合う時間が多いため、早い時期から自分は何がしたいのかを理解し、それに必要なことにチャレンジする機会を多く得られるのも法政中高のよいところですよ。

生徒O 付属だからこそ、縦のつながりが強く、高校生とも日常的に交流できることは魅力のひとつです。ただ、必ずしも法政高校や法政大学に進学しなくてもよいので、実は生徒にとって選択肢が多いことも「自主自律」を育む一因ではないのでしょうか。

生徒T 少人数の学校で生徒と先生の距離が近いので、ルールを決める時にもしっかり話し合いができます。このように対話できる環境も影響していると思います。

教員O 法政中高は、導き手としての保護者や教員の影を、生徒の成長とともに少しずつ消していけるよう努めています。みなさんの話を聞いてそれがちゃんと機能しているということがよくわかりました。管理されなくても、自らを律し、率先して動けることが本校の生徒のよいところ。「自主自律」には失敗もつきものですが、失敗に対する寛容さもある校風なので、過ちを怖れずにチャレンジできるのでしょう。本校で育まれた「自主自律」の精神が、将来、社会を変えていく力になってくれれば教員としてもうれしいことです。



豊かな緑に囲まれた環境

中高6学年が共に学ぶ、付属校らしい充実した教育環境

360°ビューも
ご覧ください



6 体育施設

グラウンドは全面人工芝。体育館は地下1階、地上3階建て。メインアリーナ、サブアリーナ、屋外プール、屋上テニスコート以外にも3階には走廊とトレーニングルーム、地下1階にトレーニングルームと部室があります。

7 中学棟

1階に中1、2階に中2、3階に中3教室が配置され、ガラス張りの螺旋階段で各階が繋がっています。各フロアの中心に学習室があり、工作室、被服室、調理室、音楽室があります。高校棟とは各フロアでつながっています。

8 高校棟

地下1階に高1、1階に高2、2階に高3教室が配置され、学習室、理科室、社会科教室、美術室があります。地下1階から3階までは吹き抜け部分もあり、屋上庭園もあります。中学棟とは地上階の各フロアでつながっています。

History 沿革

1936 (昭和11) 年
法政中学校・法政大学商業学校、
市ヶ谷 (現大学校地) に創立

1946 (昭和21) 年
吉祥寺に移転

1947 (昭和22) 年
旧制法政中学校に新学制による中学校を併設

1948 (昭和23) 年
新学制による法政大学第一中・高等学校を開校

1971 (昭和46) 年
高校、服装の自由化を実施

1986 (昭和61) 年
創立50周年記念式典、記念会館竣工

1990 (平成2) 年
中学3クラス、高校6クラスの体制を開始

2006 (平成18) 年
新制服順次導入 (中1・高1より)
文部科学省から「スーパーイングリッシュランゲージ
ハイスクール (SELHi)」に指定 (～2008年度)

2007 (平成19) 年
法政大学中学高等学校として三鷹市牟礼に移転
男女共学化・中学4クラス、高校6クラスの体制を開始
新カリキュラム導入



1 中庭



2 食堂



調理室



工作室



3 図書館



9 グラウンド



10 プール



テニスコート



美術室



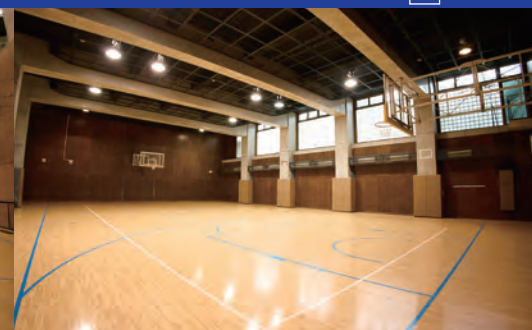
音楽室



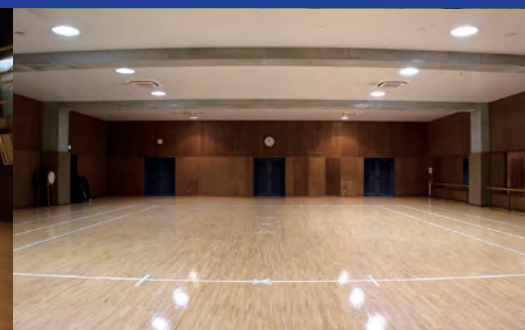
4 オレンジホール



体育館メインアリーナ



体育館サブアリーナ



剣道場



理科室



マルチメディア教室



5 カウンセリングルーム

生徒の意見を聴き、 ウェルビーイングを共に創る学校へ

不安を感じがちな今、居場所があり共感し合い元気がわいてくる学校が必要です。学校は夢中になれることを探す場です。よりよい学校を創るために大切にしたいことを3つ述べます。

相談できるってすごい力をもっていること

法政大学は2016年ダイバーシティ宣言を発表し推進しています。どの子もその子らしくいられるように、子どもが発する言葉や行動の裏にある本音に大人が向き合わなければなりません。生徒には安心して相談できる人に出会えるまであきらめずに話してほしいと伝えています。また性を学ぶことは人権の大切な柱（権利）です。ユネスコなどによる『国際セクシュアリティ教育ガイダンス』をもとに、プライバシーを尊重し悩みを共有し対話を通して知識・スキル・態度を身につけさせたいと思います。

いまを幸せにするために考えよう

人と繋がり解決したい社会の課題と向き合う、これが法政大学の「自由を生き抜く実践知」です。OECDラーニング・コンパス(学びの羅針盤)2030は、個人や社会のウェルビーイングに向けた方向性を示しています。生徒、教員、保護者、地域など幅広いコミュニティと共同で学び、若者が主導し意思決定する学びが求められています。本校では生徒が三者協議会を開き、生徒・教員・保護者が対等に話し合い、より過ごしやすい学校を実現し、より良いルールとは何かを考えています。中学生もオブザーバーとして参画しています。

未来志向で

生徒は「先生に相談しやすい」「他学年とも仲良くなれる」と本校の温かさを感じています。生徒は鈴掛祭を心から楽しみ、法政大学の高大連携事業を「未知の世界に出会うチャンス」と捉えています。昨年度高校生生徒会はスマートフォン利用のルール改定を実現しました。執行部は「時代に合わせてさらに変えよう」「『明日もちょっと楽しみ』と思える学校生活にしよう」と、呼びかけています。生徒が主人公になりウェルビーイングを共に創ります。

自主自律

教育目標

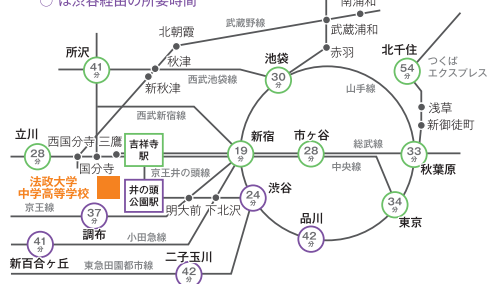
日本国憲法が定める基本的人権を尊重し、平和で民主的な社会の形成に資する主権者を育てる。

法政大学の校風として育まれた「自由と進歩」を体現する主体的で創造的な人間を育てる。

豊かな知性と教養、健康な心と身体、思考力と判断力を有する人間を育てる。

法政大学中学高等学校
校長 松浦 麻紀子

路線図 ○は吉祥寺経由の所要時間
●は渋谷経由の所要時間



※井の頭公園駅平日AM8:00前後到着までの乗り換え時間を含めた所要時間です。
※調布からは京王線「明大前駅」経由、新百合ヶ丘からは小田急線「下北沢駅」経由。

アクセスマップ



交通案内 徒歩の場合

- 京王井の頭線「井の頭公園駅」下車 徒歩約12分
- JR線「吉祥寺駅」下車 徒歩約20分

自転車通学の場合

- 本校から半径10kmの範囲に自宅がある場合のみ許可制で通学が可能です。
- 自宅以外からの自転車通学は認めていません。

バスの場合

- JR線「三鷹駅」より「久我山」行き 京王バス約9分「西ヶ原」バス停下車 徒歩約4分
- 京王井の頭線「久我山駅」より「三鷹」行き 京王バス約10分「西ヶ原」バス停下車 徒歩約4分
- 京王線「調布駅」より「吉祥寺」行き 京王バス・小田急バス約25分「下連雀」バス停下車 徒歩約12分

※バスの所要時間は時間帯、交通状況により異なります。

中学 入試情報

2025年度 入試日程

■2月1日(土) ■2月3日(月) ■2月5日(水)

高校 入試情報

2025年度 入試日程

【推薦入試】1月22日(水) 【一般入試】2月10日(月)

2025年度 入試向け イベント

中学・高校入試イベント

学校説明会(要予約)

- 6月22日(土) ■10月5日(土)
- 7月6日(土) ■10月19日(土)
- 9月28日(土) ■10月26日(土)
- 11月16日(土)

施設見学会(要予約)

- 7月27日(土)
- 8月3日(土)
- 8月24日(土)
- 10月26日(土)
- 12月7日(土)

中学入試イベント

オープンキャンパス(一部、予約制)

- 7月13日(土) 9:00開場

入試直前対策講習会(要予約)

- 12月21日(土) 8:30~11:00



上記QRコードから
ご予約をお願いします。

※詳細はホームページをご覧ください。

